

## 全国コミュニティ・スクール連絡協議会会長挨拶

会長 三鷹市教育委員会 教育長 <sup>かいのせ</sup>貝ノ瀬 <sup>しげる</sup>滋

政府は、令和5年6月16日に「経済財政運営と改革の基本方針2023（いわゆる、骨太の方針）」を閣議決定しました。そこでは、「地域をはじめ社会の多様な専門性を有する大人や関係機関が協働してきめ細かく教育に関わるチーム学校との考え方の下、地域と連携したコミュニティ・スクールの導入を加速するとともに、…」としています。

また、同日に閣議決定された新たな「教育振興基本計画」では、今後5年間の教育政策の目標と9の基本施策の1つとして、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」が掲げられ、「全ての公立学校に地域と連携・協働する体制を構築するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を一層推進する。その際、学校と地域をつなぐ人材として、地域学校協働活動推進員の効果的な配置促進・常駐化、資質向上等を図ることにより、我が国の将来を担う子供たちを地域全体で育む地域とともにある学校づくりを推進するとともに、地域や子供をめぐる課題解決のためのプラットフォームにもなり得る学校を核とした地域づくりを推進する。」と明記されました。

これは、大変重要な目標で、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部が置かれた学校を単に増やすことを要請しているのではなく、学校運営協議会と地域学校協働活動が一体的に展開される学校をコミュニティ・スクールと称するのだと示唆しています。

従来の学校づくりが核心であった学校運営協議会と、地域学校協働活動が一体的に行われる中で、その取組は学校づくりを超えて「学校を核とした地域づくり」に進化します。これこそがコミュニティ・スクールの本来の姿だといえましょう。今後、私たちは、校長の自律的な学校運営を支え、強化するコミュニティ・スクールから、多様な意見が尊重され、日本の民主主義社会の基盤強化にも資する、まちづくりに発展するコミュニティ・スクールを目指したいと考えます。



## 文部科学省委託事業 「教育長による教育長のためのコミュニティ・スクール相談窓口」

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、学校や地域をとりまく様々な課題を解決するためのプラットフォームとしての機能・役割を担うことも期待されていますが、導入状況は道半ばです。

そこで、未導入自治体や今後導入を進めていく自治体の教育長を対象に、当会の強みであるコミュニティ・スクールに深い知見を有する教育長のネットワークを活かして、教育長を含む関係者への講座や対面での教育長等への個別相談を実施することで、コミュニティ・スクールへの理解促進や不安点の解消などに向けたお手伝いを、令和4年度に引き続き今年度も実施することとなりました。

まずは事務局へお気軽にお問い合わせください◎

令和5年度文部科学省委託事業  
教育長等へのコミュニティ・スクールの導入促進のための委託実施事業  
相談料 無料

### 教育長による教育長のための コミュニティ・スクール 相談窓口を開設します!!

ぜひご利用ください

- コミュニティ・スクール未導入自治体のみならず
- コミュニティ・スクールを今年度導入予定の自治体も
- コミュニティ・スクールの導入促進のための委託実施事業です。

先行自治体の教育長が現地に伺います(オンライン相談も可)

コミュニティ・スクールの意義や効果、導入に向けた  
課題などを教育長同士で相談してみませんか。  
まずはお問い合わせください!  
※お申し込みは必ずお電話にてお願いいたします。

本会に関するお問い合わせはコソフ  
☎0422-29-8349  
(受付時間 平日9時30分～17時00分)  
✉soudancs@gmail.com

【実施期間】令和6年2月29日まで  
(相談受付は令和5年2月9日まで)

詳しくは自治体事務局へお問い合わせください。 <https://japan-cs.org> (全CS) 全CS

全国コミュニティ・スクール連絡協議会 (事務局) 三鷹市教育委員会事務局教育政策課

全国コミュニティ・スクール連絡協議会は、平成23年に発足し、コミュニティ・スクールを広く普及  
させるための普及啓発活動を行っています。また、コミュニティ・スクールの普及・発展に向けて教育  
委員会の委員長等が連携、協力しながら、コミュニティ・スクールの普及・発展に向けて取り組んで  
います。このたび、文部科学省の委託を受け、長くコミュニティ・スクールに寄り添ってきた自治体  
の中心となる自治体として、教育長が活躍する自治体ネットワークを構築し、コミュニティ・スクールに  
関する相談窓口を開設します。

## 令和5年度 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 役員紹介

副会長 <sup>いなだ</sup> 稲田 <sup>しんご</sup> 新吾 (京都府京都市教育長)



京都市は、熟議する理事会と地域学校協働活動を実施する企画推進委員会を一体的に運用・推進する京都方式の学校運営協議会の設置を進めてきました。

会員の皆様と、取組を共有し、更なる活性化を図りたいと考えています。

副会長 <sup>みやけ</sup> 三宅 <sup>たいじ</sup> 泰司 (岡山県岡山市教育長)



市内すべての学校園にCSを設置して4年目。学校運営協議会の活性化と、地域学校協働活動の充実を図り、その相乗効果を発揮できるよう、地域と学校の連携・協働を一体的に推進してまいります。

会計監事 <sup>ふじもと</sup> 藤本 <sup>たかはる</sup> 孝治 (山口県山口市教育長)



学校・家庭・地域が連携・協働したコミュニティ・スクールの取組が充実し、子どもも大人も行きたいと思える幸せな学校、このような将来像に向け、会員の皆様と取り組んでまいります。

会計監事 <sup>さとう</sup> 佐藤 <sup>ますお</sup> 増夫 (熊本県高森町教育長)



「高森町新教育プラン」を掲げて13年目。重点施策は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育」です。ICT教育の町、英語教育の町、ふるさと教育の町高森を推進中です。

### 顧問紹介

顧問 鈴木 寛 (東京大学教授、慶應義塾大学教授)

顧問 在田 正秀 (京都市教育委員会総務部相談役、京都市前教育長)

### 臨時総会書面表決の結果について (報告)

「令和5年度全国コミュニティ・スクール連絡協議会臨時総会」を書面にて開催し、7月5日までに、84件の評決書が提出されました。結果、規約の定めに従い、過半数の賛成をもって3件の議案はすべて承認されました。頂戴しましたご意見は今後の活動に役立ててまいります。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

第1号議案 令和5年度役員人事について

賛成 84件 反対 0件

第2号議案 令和5年度の活動・予算について

賛成 84件 反対 0件

第3号議案 令和6年度全国コミュニティ・スクール研究大会の開催地について

賛成 84件 反対 0件

誠にありがとうございました。

令和6年度全国コミュニティ・スクール研究大会

開催地 決定!!

**石川県金沢市**

日時：令和6年11月7日(木) 連絡協議会総会  
令和6年11月8日(金) 全国CS研究大会  
場所：金沢市文化ホール

## 令和5年度 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 支部長紹介

北海道支部長 <sup>よしだ たかし</sup> 吉田 孝志 (北海道北広島市教育長)



未来を担う子ども達が地域社会とのつながりの中で学ぶことができ、自らの可能性を最大限に引き出すことができるよう、CSの推進・発展、道内市町村の本協議会加入促進に努めてまいります。

東北支部長 <sup>わたなべ としひろ</sup> 渡辺 敏弘 (福島県大玉村教育長)



コミュニティ・スクール導入13年目となりました。「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進により、「地域とともに歩む学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」を進めて参りましょう。

関東支部長 <sup>あさくら たかし</sup> 朝倉 孝 (埼玉県ふじみ野市教育長)



「正解」から「最適解」を求める時代、地域の拠点としての学校づくりが求められています。子供たちを未来へとつなぐ、人づくりとまちづくりの好循環を目指し、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちを育てるCSを推進するチャンスと考えます。子供たちのために何ができるのかを共に考え、教育活動を推進してまいります。

甲信越支部長 <sup>はやかわ よしひろ</sup> 早川 義裕 (新潟県上越市教育長)



上越市では、地域とともにある特色ある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクールと小中一貫教育の仕組みをいかしたカリキュラム・マネジメントを推進しています。

中部支部長 <sup>みずかわ かずひこ</sup> 水川 和彦 (岐阜県岐阜市教育長)



コロナの5類移行に伴い、ふるさとの自然、歴史、産業等に直接働きかける学びを通して、自らの生き方を探究する教育が学校に戻ってきました。CSの仕組みは、そのダイナミックな教育推進の理想のエンジンになると信じています。

近畿支部長 <sup>たつおか ひでとし</sup> 立岡 秀寿 (滋賀県甲賀市教育長)



甲賀市では、「故郷に誇りを持ち、世界に発信できる」子どもたちを育てるため、CSの機能と地域学校協働活動は必要不可欠です。活動を通して、地域への参加、そして参画、貢献というキーワードを大切にしながら、各校独自の展開を進めています。

中国支部長 <sup>おぎの まさひろ</sup> 荻野 雅裕 (広島県府中市教育長)



コミュニティ・スクールは子供たちの現在と未来の幸せを実現する方策として、これからも学校・家庭・地域が一体となって、学校の中に地域を、地域の中に学校を創造し、全力で取り組んでまいります。

九州・沖縄支部長 <sup>かじわら としあき</sup> 梶原 敏明 (大分県玖珠町教育長)



コロナ禍後の社会の変化と期待される学校教育の在り方とは何かを考えますと、まさしく学校と地域との連携・協働などの人々のつながりが大事で、そのためには「地域とともにある学校づくり」を推進していきましょう。

### ご退任

四国支部長としてご活躍いただきました、徳島県東みよし町教育長 真鍋 孝之様は6月30日付で教育長をご退任されました。今までありがとうございました。

新たな四国支部長が決まりましたら、また会報にてご紹介させていただきます。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会には、9つの支部があります。各地区でコミュニティ・スクールの特徴的な活動や研究発表会等がありましたら、ぜひ本連絡協議会事務局(三鷹市教育委員会)や所属する地区の支部長の教育委員会まで情報をお寄せください。



## 【開催案内】地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2023 茨城

主催：文部科学省、茨城県教育委員会

### 開催日時

2023年7月15日（土）13:00～16:45

### 申込期限

2023年7月10日（月）

### 会場

茨城県庁 9階講堂（WEB同時開催）

※WEB視聴はお申込みいただいた方のみ限定配信

### 参加申し込み方法

申し込みは「会場参加」と「WEB視聴」の2種類があります。

<https://forms.gle/HeifcfuFiBtuDDet7>

（お申込みフォーム）

文部科学省 HP「学校と地域でつくる学びの未来」  
からもアクセスできます



### 費用

無料

### 賛助会員からのお知らせ

11月24日は  
「和食の日」

当会の賛助会員である、一般社団法人和食文化国民会議では、11月24日「和食の日」を中心に子どもたちに、和食文化に触れる機会を提供する「だして味わう和食の日」の取組をされています。和食文化国民会議では、放課後子供教室事業などでも活用できる出前授業も行っています。詳しくはホームページをご覧ください。



<https://washokujapan.jp> 和食文化国民会議 HP

CSに関する  
情報交換を  
しませんか？

## 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 会員募集中！

入会を希望される方は、全国コミュニティ・スクール連絡協議会ホームページの「入会方法」をご覧ください。所定の「会員申込書」に必要事項を記入し、事務局までメールにてご提出ください。

ご不明点は事務局にお問い合わせください。



入会方法はこちら👉

### 全国コミュニティ・スクール連絡協議会

事務局 東京都三鷹市教育委員会 教育部教育政策推進室

〒181-8505 東京都三鷹市下連雀九丁目 11 番 7 号

電話 0422-29-8349

ホームページ <http://www.japan-cs.org/>